



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 9
令和6年 8月 29日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

**充実した夏休みを終え、やさしさ、強さを身に付け前期後半スタート！
教室で夏休みに頑張ったことや楽しかったこと、今後頑張ることを語る児童！
職員は2年目の学校改修工事、授業準備、会議や研修、リフレッシュの夏休み！
今後も赤いランプの車には、お世話にならないように生活したいですね！**

26日、民生委員の方々といっしょに運動をしながら大きな荷物を持った児童たちを迎えていました。日焼けして、夏休みの宿題や作品、内ズックや体育着、水着など保護者に手伝ってもらった児童もいました。集会では「大きな事故に遭わなかったこと。一人一人成長していること。学校生活にスイッチを入れ直して取り組むこと」などを話しました。また、登校班での安全確認や表彰を行いました。(珠算、書写、ソフトボール、野球)



2階のワークスペースに作品を展示しました。テトルでメール配信しましたが力作ぞろいで見応えがありました。本人のアイデア+家族のフォローのおかげと考えます。この後、東部公民館や檜山崇徳館などでも展示してもらう予定です。地域の皆さんにも是非見ていただきたいと思います。



独り言ですが・・・オリンピック選手には負けて謝らないでほしいなあ。「死ぬ気で努力してきた。この日にかけてきた。誰にも文句は言わせない。」と語ってほしいなあ。

夏休み前に「パリオリンピックを見て何かを感じてほしい」と子どもたちに話しました。プールで柔道をやっている児童、泳ぎをまねている児童などがいました。柔道金メダリストの角田選手を育てた高校時代の監督は私の先輩です。柔道をやめてケーキ屋さん

になろうとした角田選手に「これからもっと強くなれる」と大学進学を勧めました。フランスに応援に行き、金メダルを首からさげて二人で乾杯している写真を送ってくれました。柔道の指導者として貫き通した先輩に最高のプレゼントだと思いました。

日本の代表としてオリンピックに出場するだけでもたいへんなのに、メダルを期待されるプレッシャーを「地獄の日々でした。」と正直に語る選手たちがいてホッとしました。人生をかけて挑戦するという事は苦しいことが多いはず、美しいこと、感謝だけでは片付けられません。さらに簡単に誹謗中傷してしまう人の心理も理解できませんし残念でした。授業を見て回っていると先生たちがオリンピックのことを例にして熱く語りかけている場に出会います。本校が大切と考えて取り組んでいる人との関わりを中心に、新たな時代をたくましく生きる人に育てたいと思ったオリンピックでした。



オリンピックがくると一人の教え子を思い出します。中学校で柔道県大会2位、高校でレスリングを始めインターハイ団体2位、大学では個人優勝、地元の役場に就職しましたがどうしてもオリンピックに出場したいと相談を受けました。「役場を辞めて行け」とも、「残って地元で頑張れ」とも言えませんでした。最後は自分で決めるのです。彼はオリンピック予選国内2位で夢のオリンピックには出場できませんでした。メダリストの陰には数え切れないほどの敗者が存在します。その人たちの人生がメダリストに負けにくいくらい充実していてほしいと思ったりしています。

五小っ子の中からもオリンピックや世界チャンピオン、世界で活躍する人ができるかもしれません。可能性はゼロではないので楽しみです。